

省エネルギー法に基づく 管理標準	照明設備 管理標準	整理番号：００８	
		第１版	頁：１

1. 目的
このエネルギー管理標準は、省エネルギー法第４条並びに告示「判断基準」に基づき、運転管理、計測記録、保守点検を適切に行い、エネルギーの使用の合理化を図ることを目的とする。
2. 適用範囲
倉敷市児島市民交流センターに設置された倉庫、機械室などの点灯時間の短い設備を除く照明設備に適用する。

項目	内容と管理基準	判断基準	備 考
管 理	照度基準は部屋の種類ごとに定める	(3)①ア	表１を目安とする
	不在時は消灯する ホールにおける準備、かたづけ時は最低限の照明（作業灯の利用）とする 窓側照明は昼光を利用する	(3)①ア	照明名称をスイッチに表示
	照度基準の範囲で可能な限り間引き点灯とする	(3)①ア	
項目	内容と実施頻度	判断基準	備 考
計 測 記 録	電灯トランスの電流値等の計測記録を月に１回（電気設備点検）実施する	(3)②	月次報告書
	照度測定は新設、更新時に実施する	(3)②	業者報告等
	事務所等の照度測定を、年１回行う	(3)②	測定記録表
	その他、管理項目の遵守状況	(3)②	
保 守 点 検	ランプ交換時に灯具の清掃を実施する	(3)③ア	
	利用時にランプの黒化等の点検を実施する	(3)③ア	
	その他、管理項目の遵守状況	(3)③ア	

新設の措置（新設、更新、修理の際に検討する事項）

- ・高効率照明の採用
蛍光灯 FLR を一体型 LED へ
水銀灯、蛍光灯 FLR、非常口表示灯の修理（安定器更新等）の際は、高効率照明の採用と比較検討
- ・昼光の利用、不要な場所及び時間帯の消灯又は減光
昼光の状況に応じ適正減光する照明自動制御設備の拡大採用。
光源交換直後の高照度を適正減光する自動制御設備等の採用。
人体感知装置の設置、タイマーの利用等の拡大。
- ・照明電力使用量を計測できる機器の採用

下線部は、今後の徹底項目（改訂時の重点ポイント）とする。

文書履歴（制定及び改廃）			担当部課：児島市民交流センター	
年 月 日	版数	改訂内容	検討及び立案	承 認
H28.12.14	1	書式変更に伴う見直し	所長	事務局長

●検討及び立案：施設エネルギー管理推進者（所長もしくは主任）、●承認：事務局長、●報告：省エネ・温暖化対策推進委員（文化振興課課長）●原本（紙及び電子媒体）の保管：施設及び事務局が保管、●写し（電子）の保管：電子で地球温暖化対策室が保管

省エネルギー法に基づく 管理標準	照明設備 管理標準	整理番号：００８	
		第１版	頁：２

表 1

NO.	項 目	推奨照度
1	事務室、細かい視作業	750lx～
2	会議室、応接室、集中管理室、制御室、普通の視作業	500lx～
3	食堂、受付、宿直室、化粧室	300lx～
4	トイレ、洗面所、更衣室、湯沸室、書庫、電気室、機械室	200lx～
5	階段	150lx～
6	廊下、通路、倉庫、休憩室	100lx～